

# SUMMARY

No062620

## <NOTICE>

6/29 及び 6/30 は、レポートはお休みです。

7月号は 7/1 (no070120)から」です。

\*\*\*\*\*

6 月をちょっと振り返ってみましょう。

CV1 に関して 6/5 に一時 25 ポイント前後まで減少した数値はその後 40 ポイント台への RSC を見せました。その後、約 10 ポイント下の 31 ポイント台まで戻り現在に至っています。(6/24 現在 CV1 [=JUL] は 33 ポイント台。)

上記の数値(25 ポイント前後、30 ポイント台、40 ポイント台といった数値)を“速度”としてイメージしてみましょう。変化また変動の速度です。今年2月まで見せていた数値とどうしてこんなにも性格が変わってしまったのかと思われているかもしれませんが、数値の動く速度が収まっていないので数値が 30 ポイント台を維持しています。3月の RSC のアフターショック(余震)が収まっていません。

数値なお異常な水準に位置しています。

この状況を別の側面から見ればポジティブに受け止めることができますと思います。

“C”に着目してみましょう。

“C”についてまず理解することが大事だと述べました。

ナンバーオペレーションはマトリックスの数値ありきです。

次に、VC においては“C”ありきなのです。

(“P”絡みのハンドだけを実行している方も“C”について理解しなければなりません。“P”は“C”の派生だからです。)

VC の左側の数字に着目してください。

“C”はマトリックスの数値と直接の関係があります。

※ 数値の月々の変動に振り回されるのは！ VC をよく見ると、これは“改め”所満載です。